

朝比奈緑、川原美奈子 アイチオンライン企画に 「MARIMO」で参加

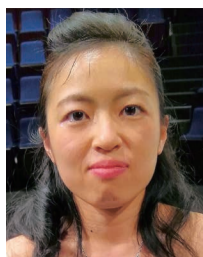
愛知県主催のアート企画「アイチオンライン」(2月1日〜3月21日)は、新型コロナで創作活動に影響を受けたアーティストらに新作を依頼し配信で発表するプロジェクト。短編映画、音楽ライブ映像、パフォーミング・ダンス映像、漫画、サウンドイン、ステーションなど多様なジャンルの表現者・企画者が、新美南吉記念館とこなめ陶の森など県内の文化施設と連携して作品を制作した。



演劇ジャンルからは「劇団うりんこ」朝比奈緑、川原美奈子が参加。二人が2017年から取り組んでいる、言葉を紹介しない表現で0歳〜24カ月の子どもたちと共に作品を作り上げるパフォーミング「ベイビーシアター『MARIMO』(写真)の映像化に挑戦した。チェルフィッシュ、維新派などに参加する舞台映像作家・山田晋平が、愛知県美術館のギャラリーで二人の表現を撮影し、映像作品として完成させた。子どもたちの時間は同様でも、ガラス越しの下からの撮影や、ホワイトキューブに優しい彩りを加えた福井孝子の照明など、作品の特徴が多角的に伝わった。劇場では二人が子どもという観客のために、子どもという共演者と共に演じるが、映像化したことで、反応する子どもも姿もすべて含めた作品として、鑑賞者の私たちにイマジンেশョンが生まれる瞬間の感動や優しい空気が確かに届けられた。(竹本)

演奏家育成塾「市長賞」に佐藤愛(ピアノ)

名古屋演奏家育成塾(佐々木伊予子実行委員長)の第32回コンサートが3月13日、名古屋市中心種文化小劇場で行われた。昨年10月の第31回と併せた2020年度の最優秀者にピアノの佐藤愛(愛知県立芸大卒)が選ばれ、市長賞が贈られた。市文化振興事業団賞は、天野世理(ハープ)、山田美友、佐藤愛(ピアノ)、土屋宗太(ピアノ)で、



熱田文化小劇場で演奏会を開く権利が与えられた。奨励賞は次の通り。
【第31回】鈴木理桜(ヴァイオリン)、天野世理(ハープ)、古川絢瑛(ピアノ)
【第32回】土屋宗太、山田美友、佐藤愛(ピアノ)、土井里佳子(声楽)

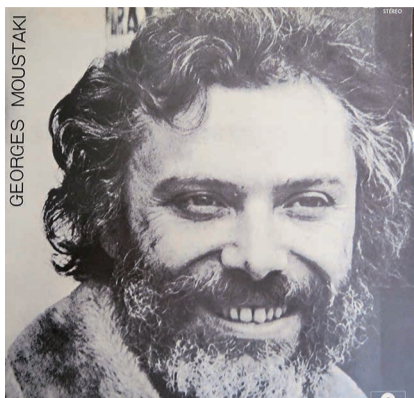
推奨公演

オールバレエスタジオ15周年記念発表会「コッペリア」。4月25日(昼12時30分)アートピアホール。全自由席2000円。TEL052(8996)71333。

音楽回想ひとり語り

へらへらジョルジュムスタキ ジョルジュ・ムスタキは、2013年に79歳で世を去るまでパリを中心に活躍したシンガーソングライター。現代のシンソン歌手と違って面白い。

その風貌や、ムスタキという苗字からも分かるように1934年、ギリシャの生まれ。パリに出て、いろいろな歌手と知り合い、最初は曲作りの才能が認められた。中でもエディット・ピアフのヒット曲「ミロール」の作詞は有名。ほかにイ



「異国の人」ジョルジュ・ムスタキのジャケット

「私の孤独」がヒット。来日公演を重ねた。私も何度か足を運んだ。今も多くのLP盤が棚に並んでいる。この2曲のほか「内海にて」「生きる時代」「もう遅すぎる」「ヒロシマ」など。ベスト盤CDで、その魅力がよく分かるだろう。(植田三郎)

パリで活躍したギリシャの名歌手

も、歌唱力に秀でているわけではないが、切々と語るように心情をつづるのが魅力だ。初のアルバムを聴いて、私はすぐファンになった。当時、日本で知る人はまだ少ない。特に声がいいわけでは

これが代表作となり、日本語でシンソンとして歌われている。私は異国の人へのほうが傑作だと思ふ。パリに出た当初、彼はまさに異邦人で、その心情を率直に歌っていた。

本紙が選ぶ2020ベストステージ(舞踊)

「落葉と薔薇」PHANTASIA「名古屋城天守物語」

「音楽部門」演劇部門に続いて、2020年(12月)の「舞踊部門」を振り返る。コロナ感染症の発生で20年の公演は激減したが、選出した3作は、通常の公演数があったとしても「ベスト」に上がる傑作だった。21年を迎え、徐々に状況は緩和されてきているが先が見えない。一日も早いコロナ禍の終結を願うばかりだ。



「落葉と薔薇」



「PHANTASIA」



「名古屋城天守物語」

容易ではない。愛西市の須山バレエが「オペラ座の怪人」でその難関にチャレンジした。男と女、男と男の深遠な心の葛藤を、アグレッシブな音楽、ミステリアスな演出と照明を用いて鮮やかに再生。優れたダンス・エンターテインメントとして成立させた。

トムには高宮直秀、劇中の「マスカレード」で、華やかな群舞を披露したアンサンブルメンバーにも拍手を送りたい。

特筆すべきは劇中で歌われる長唄。常磐津のほとんどが、この作品のために書き下ろされた新曲初演であったこと。まさに芸どころならでの快挙だった。

舞台批評

「イノック・アーデン」

何と濃密な75分だったことか。俳優の神原忠美とバイオリニストの熊谷祥子が共演した舞台「イノック・アーデン」は、朗読と音楽が見事に溶け合い、強弱や緩急のバランスと間も絶妙。一瞬も目と耳を無駄にできない深い遠な作品世界へと誘ったのである。

朗読と音楽の濃密な75分に陶醉



「イノック・アーデン」© Michitaka SUGIE

の歳月が流れ、アーデンはフリーリップと再婚。幸せに暮らしている折も折、無人島から救出されたイノックが戻って来て…。

熊谷のバイオリンは緩急自在だ。原作の心を表出する旋律は清澄で甘美、時に哀切。展開に緊張感を醸し、登場人物の様々な気持ちの揺れも匂うように紡いだ。

この魂の叫びが興味を惹きつける。色彩感に富む自作曲などを繊細な技巧で奏でる熊谷のバイオリンは緩急自在だ。原作の心を表出する旋律は清澄で甘美、時に哀切。展開に緊張感を醸し、登場人物の様々な気持ちの揺れも匂うように紡いだ。

楽しく、温かく、心安らぐ空間

ポカラの会

舞台人にとって、経験や技術よりも大切なことがある。それは「人に愛され、信頼される存在であること」。松本英司、まつもとときと夫妻による「ポカラの会」の公演「イーハトーブのふたつのお話」(2月10日・東海市芸術劇場)を見て、この夫妻がそうであることに気付いた。

私がかつて見たポカラの作品は、杉原千畝の偉業をつづった「六千人の命のピザ」。次に見たのは現代の戦争を描いた「弟の戦争」。いずれも社会性の高いテーマを、生演奏や人形を使って分かりやすく噛み砕いた秀作だった。私はすっかりポカラのファンになった。

数奇な運命の物語は救いを待たない。愛西市の須山バレエが「オペラ座の怪人」でその難関にチャレンジした。男と女、男と男の深遠な心の葛藤を、アグレッシブな音楽、ミステリアスな演出と照明を用いて鮮やかに再生。優れたダンス・エンターテインメントとして成立させた。

クリスティエーヌは伊勢直美、恋人ラウルに山田裕也、そして怪人ファンタジーの舞踏。市川は冒頭の数分間で観客のハートをつかんだ。

「セロ弾きのゴーシュ」の想像力を大きく羽ばたかせ、真摯に生きる人間の愛情や希望にこそ強く、奥深い「生」のエネルギーが渦巻いているのを痛感させたからに違いない。2月27、28日・HIT OMIホール。(桐)

終演後の会話や穏やかな笑顔で分かった。私が初めて見たポカラの作品は、杉原千畝の偉業をつづった「六千人の命のピザ」。次に見たのは現代の戦争を描いた「弟の戦争」。いずれも社会性の高いテーマを、生演奏や人形を使って分かりやすく噛み砕いた秀作だった。私はすっかりポカラのファンになった。

安賜勳コンサート

出演者の顔ぶれから、優れたコンサートになる確信はあったが、それ以上の出来栄であった。韓国出身の音楽家・安賜勳(アン・サフン)制作、演出、主演による「テノールコンサート」(2月11日・緑文化小劇場)だ。

圧巻の歌唱、卓越した演出センス

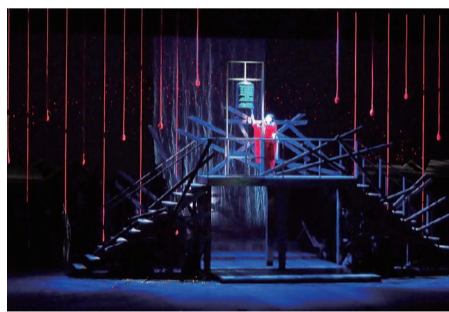


右から日比野景、安賜勳、朝香 熱唱した。高校時代に見たミュージカルが、歌手を志す切っ掛けになった」と語る安だけに、熱のこもった重量感あふれる熱唱だった。

オペラ「おしち」

池辺晋一郎作曲の和製オペラ「おしち」が上演された(2月10日・四日市市文化会館)。日本舞踊などで知られる「八百屋お七」を原典にした作品。タイトルロールは幸田浩子、管弦楽は松井慶太指揮のオーケストラ・アンサンブル金沢(=OEK、20人編成)が務めた。

四日市と金沢の有志が総力を結集



「おしち」の幸田浩子 唱は、強く正確ではあったが、「和」のドラマにはそぐわぬものだった。足りなかつたのは経験がテクニクか。歌唱にも和・洋の切り替えが必要なのだと感じた。

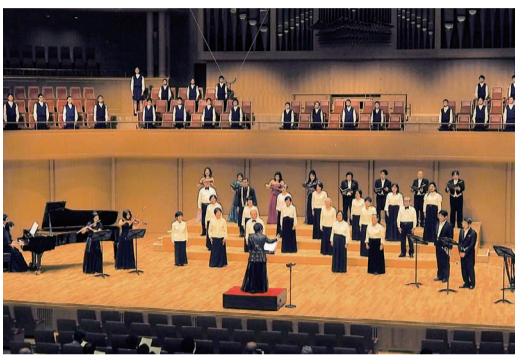
この公演は、金沢市のO.E.K.と舞台スタッフ、そして四日市市の合唱団などが協力して実現した。逆に関手役・荒木の歌技でヒロインを好演した。幾度か彼女のステージを見ていたが、これほど巧みに「和の世界」を体現できるとは…(恐れ入りました)。(シゲル)

「第一印象は6秒で決まる!!」 映画、それに本ままで、出だしが重要なことは、長い経験から確信がある。曲にもよるが、最初の数分を聴いて、いい演奏だと感じた印象は最後まで多分変わらない。その逆もまた正しい。だんだん良くなるケースもある。出だしと同様、最後もまた大事だ。(上原宏)

舞台批評

日本に特定の宗教が根付かなかったのは、優れた宗教音楽がなかったからではないか。「作曲家・平田聖子の世界」親鸞(2月26日・芸術劇場コンサートホール)を見て、そう思った。

日本人の宗教観変える旋律と和声



「親鸞」(指揮は平田聖子)



名フィル(オルガンは都築由理江)

は美しい西洋音楽で、宗教臭さがまったくないこと。日本人がキリスト教の聖歌、讃美歌を愛聴、愛唱するように、平田の曲に接することが出来る。

ト、居福健太郎(ピアノ)ら15人のソリストと名古屋少年少女合唱団ほかが出演。さまざまな形態で平田作品10数曲を演奏し聴衆を魅了した。

このような美しい曲がも確かだ。古くからあれば、日本人の宗教観も大きく変わったのではないだろうか。関連でチャイミングな平田のキャラクターが宗教色を打ち消していること

3333で響きの美しさを再認識

名古屋フィル

名古屋フィルハーモニー交響楽団が、令和3

年3月3日に、サン・サリンズ作曲の「ヴァイオリン協奏曲第3番」と「交響曲第3番」を、円光寺雅彦の指揮で披露した(芸術劇場コンサートホール)。

「ヴァイオリン協奏曲第3番」はサン・サリンズが、名手サラサーテのために作曲した名曲で、ヴァイオリニストにとっては聴かせどころ満載の傑作。荒井は強く重厚な音色で旋律を展開、オーケストラが幾重ものハーモニーで包み込んだ。

ピアノのコンサート 2台のコンサート with Special Guest 齋藤雅広 稲葉瑠奈 2021.5.15 Sat 15:00開演 [14:30開場]

「ヴァイオリン協奏曲第3番」はサン・サリンズが、名手サラサーテのために作曲した名曲で、ヴァイオリニストにとっては聴かせどころ満載の傑作。荒井は強く重厚な音色で旋律を展開、オーケストラが幾重ものハーモニーで包み込んだ。

「第一印象は6秒で決まる!!」 映画、それに本ままで、出だしが重要なことは、長い経験から確信がある。曲にもよるが、最初の数分を聴いて、いい演奏だと感じた印象は最後まで多分変わらない。その逆もまた正しい。だんだん良くなるケースもある。出だしと同様、最後もまた大事だ。(上原宏)

会員募集 「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポーター会員を募集しています。会費は年間6600円(税込)です。

- 私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します 青山 皆江 小野由加利 手塚 淑子 秋田巴喜子 加藤 静子 戸田美江子 浅井 亮子 金澤 志保 中川 幸作 荒井 洋子 蟹江 尾八 仲条 優理 飯田みち代 北村 哲也 夏目 久子 出田 光代 黒沢 優子 名鶴ひとみ 伊藤 敬 工藤寿々乃 西川 長秀 伊藤 直樹 佐藤美智子 野村 祐子 稲垣 舞比 澤脇 達晴 服部 節子 斎 干龍 清水 房子 花柳 磐優 植村麻衣子 白樺 八青 林 雅仁 内田 寿菊 すずこしほ 福井 啓子 内田寿千代 杉江 瑠美 淵本晴都子 内田 寿晴 鈴木久美子 松波千津子 内田 寿哉 鈴木 文雄 松本 道子 内田のり 須山 仁美 見波 紀子 内田のり 角田真優美 宮原 由布 内田のり 高橋はしめ 宮西 圭子 大寺 資二 武市 孝三 山口 雅子 岡田 一男 竹元まき子 吉田 尚弘 岡田 純奈 田淵友佳理 よしみゆこ 岡崎 保彦 玉田 弘子 渡部 千枝 小倉ひろこ つつみあつき ほか

「第一印象は6秒で決まる!!」 映画、それに本ままで、出だしが重要なことは、長い経験から確信がある。曲にもよるが、最初の数分を聴いて、いい演奏だと感じた印象は最後まで多分変わらない。その逆もまた正しい。だんだん良くなるケースもある。出だしと同様、最後もまた大事だ。(上原宏)

Tokyo University of the Arts Acanthus Tokyo
東京藝術大学
アカンthus東京
第22回 新人演奏会

2021.5/15
13:00開演 13:30開演
会場: しらかわホール

天路 世輝
高橋 万由
松本 結那
八木 優希

赤松林太郎
CDアルバム「無邪気」発売記念コンサート
足利真貴 赤松林太郎
5月13日(水) 18:30開演 19:00開演
会場: 電気文化会館

心地よかつた元気の良さ

日置&尾高

ピアノリスト日置ひと美が、名フィルのヴァイオリン奏者・尾高詩音里とデュオリサイタル(2月13日・HITOMIホール)に臨んだ。

愛知県立芸大の出身同士だが、1年前に知り合っていたのが、初めての共演だった。ドイツ音楽シリーズの第1回として、ブラームス「ヴァイオリンソナタ第3番」(ベートーヴェン「クロイツェル」)の大作2本立て。

ブラームス晩年の3番は、もう少し枯れた雰囲気を与えていたが、2



日置ひと美(P)と尾高詩音里(V)

人の若さがぶつかると、元気のよさ。時に激しさも感じた。ただ、これも心地よい。

クロイツェルソナタの前奏曲の多彩な曲調を豊かに表現

稲熊佐江子

プレリユード(前奏曲)の傑作を集めた稲熊佐江子ピアノリサイタル(3月12日・電気文化会館)。コロナ禍を乗り越え、再



稲熊佐江子ピアノリサイタル

は、それよりは落ち着いた雰囲気だった。しかし、2人の力量が伯仲し、年齢的にもバランスがよい。楽しみなデュオだ。

プロデュースは後半のショパン「24の前奏曲」。そこにながら前半は、ドビュッシーで「ベルガマ

JOHN KEN NUZZO STAGE 2021SS

Spring / Summer

— ジョン・健・ヌッツォ アメリカを歌う —

Old American Songs	Art and Folksongs
<p>Old American Songs Set I アメリカの古い歌 第1集</p> <ul style="list-style-type: none"> The Boatman's Dance 船乗り踊り The Dodger ペナン節 Long Time Ago 遠い昔 Simple Gifts ささやかな贈り物 I Bought Me a Cat 猫を買ってきた <p>Old American Songs Set II アメリカの古い歌 第2集</p> <ul style="list-style-type: none"> The Little Horses 小さな馬たち Zion's Walls シオンの壁 The Golden Willow Tree 金色の柳の木 At the River 川のはたで Ching-A-Ring Chaw チン・ア・リング・チャウ 	<p>American Folk Song アメリカ民謡</p> <ul style="list-style-type: none"> Jonny Has Gone for a Soldier ジョニーは戦場へ行った Shenandoah シェナンドー The Banks of the Ohio オハイオの岸辺 <p>S. Foster S.フォスター</p> <ul style="list-style-type: none"> Beautiful Dreamer 夢路(夢見人) Gentle Annie 優しいアニー Jennie with the Light Brown Hair 金髪のジェニー Old Folks at Home 故郷の入り <p>J. Duke J.デューク</p> <ul style="list-style-type: none"> Three Chinese Love Lyrics 3つの中国の愛の歌 Noctuid 真昼 Through Your Window スルー・イ・ユー・ウィンドウ The Shoreless Sea 果てしない海

A Copland A.コープランド

名古屋公演 チケット発売日 2021/3/3(水)

2021 6/11 (金) 14:00開演 (13:30開場)

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

Nominally supported by the United States Embassy
後援: アメリカ合衆国大使館

※本公演の収益の一部は、被災地支援に充てられます。お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。
※ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。
※本公演はマスクの着用を推奨しておりますが、今後の感染状況、政府および自治体の方針変更等により、追加販売場合がございます。予めご了承ください。

「再生への前奏」とい

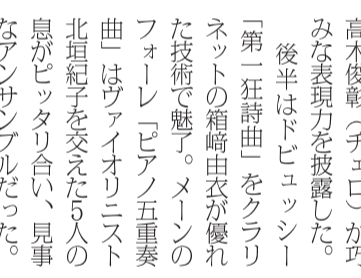
息ピッタリだったフォーレ五重奏

レーベインミュージック

パリ高等音楽院の院長を務めたフォーレに、作曲を学んだラヴェル。冒頭はそれぞれの「三守歌」で、弱音器を付けた春日井久美子のヴァイオリンが、静寂で美しく響いた。

ラヴェル「ピアノ三重奏曲」は西洋、東洋の民俗的色彩豊かなメロディーを、桑野と小坂井聖仁(ヴァイオリン)、高木俊彰(チェロ)が巧みな表現力を披露した。

後半はドビュッシー「第一狂詩曲」をクラリネットの箱崎由衣が優れた技術で魅了。メインのフォーレ「ピアノ五重奏曲」はヴァイオリン、北垣紀子と交えた5人の息がピッタリ合い、見事なアンサンブルだった。



「第一狂詩曲」をクラリネットの箱崎由衣が優れた技術で魅了。メインのフォーレ「ピアノ五重奏曲」はヴァイオリン、北垣紀子と交えた5人の息がピッタリ合い、見事なアンサンブルだった。

16th アリエッタ・フレスカ

ARIETTA FRESCA

ピアノコンサート

「紡ぐ音、響き織りなして」

プログラム

石黒 実有
ショパン: ノクターン 第8番 Op.27-2
ラマニノフ: 前奏曲 Op.23-2

小島 礼子
ラマニノフ: コレリリの主題による変奏曲 Op.42

中島 英寿
ベートーヴェン: ピアノソナタ 第28番 Op.101

平野 智子
ショパン: ノクターン 全11
ショパン: スケルツォ 第3番 Op.39

2021年5月8日(土)
14:00開演(13:30開場)

ザコンサートホール

全山席 ¥2,500

※本公演の収益の一部は、被災地支援に充てられます。お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。
※ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。
※本公演はマスクの着用を推奨しておりますが、今後の感染状況、政府および自治体の方針変更等により、追加販売場合がございます。予めご了承ください。

プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310 clanago.com/ticket (24時間予約)

produced by 葵鐘会

Quintette Pointillé

クインテット ポワントリエ

大原公演 2021.5.19 [水] 19:00開演(18:30開場) あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

名古屋公演 2021.5.20 [木] 18:45開演(18:00開場) 電気文化会館 ザ・コンサートホール

東京公演 2021.5.25 [火] 19:00開演(18:15開場) Hakuju Hall

全山席 ¥2,000 学生 ¥1,000

Kazuko Hirono Piano Recital

広野和子ピアノリサイタル

E.J. Haydn アンダンテと奏楽曲 へ短調

E. Liszt ハンガリー狂詩曲 第11番 イ短調 型トロリア 2つの伝説

C. Debussy 前奏曲 第1巻 全12曲

2021 5/29 (土) 14:00開演 (13:30開場)

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

入場料: 3,000円 [全山席] (全山席)

※本公演の収益の一部は、被災地支援に充てられます。お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。
※ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

奏でる人を聴きたい人へ 人と音をつ結ぶ

クラシック名古屋

052-678-5310

金山総合駅 南口より徒歩3分

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

アイ・チケット 0570-00-5310

(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット【電子チケット】導入。(利用できない公演もあります)
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド 「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが、丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。